

講義名	中国語資格試験準備A【GSP用】		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
この科目は、GSPクラスの学生のために開講するものである。 この授業では中国語4級の検定試験の合格を目標としている。 中国語検定試験のランクは準4級から始まるが、この授業ではワンランク上の4級レベルの文法を学習しながら、検定試験を受けるためのリスニングと筆記のトレーニングを進めていく。

到達目標
中国語検定試験4級に合格する目標を目指す。 4技能に関する到達目標 聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かり、ある程度の長文の概要を聞いて理解できる。 話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができる。 読む：300字以内の平易な内容の中国語を理解することができる。 書く：基本文型を応用して、簡単な作文ができる。

提出課題
毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行う。また、毎週宿題のプリントも配布する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
前回の提出物の結果を講評し、習得できなかった文法項目などの復習をする。

評価の基準
原則として1/3以上提出物を締切日までに提出しなかった場合は失格とします。 期限過ぎの提出は評価の減点対象となる。

履修にあたっての注意・助言他
この授業は中国語検定4級の合格を目指す科目であるため、授業時間外でのリスニングのトレーニングの強化はしなければならない。

教科書
.教科書を使用しない。

プリント資料及び参考文献
検定問題の過去問題及び自作プリント教材

授業計画
1. 40分双方向授業&実力測定&検定試験の説明 2. 40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 3. 40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 4. 40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 5. 40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 6. 40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 7. 40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 8. 40分双方向授業&ワークシート配布：本講義の中間まとめ 9. 40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 10. 40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 11. 40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 12. 40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 13. 40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 14. 40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 15. 40分双方向授業&ワークシート配布：総まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
中国語検定4級を目指すには、授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後にプリントの宿題のほか、ilodileにアップした音声ファイルを聞くことも宿題。また、検定4級試験に必要な単語及びフレーズの小テストを順次行っていくので、そのための勉強時間も確保しなければならない。 毎日の学習時間は1時間以上が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
毎回40分の双方向授業を実施する予定。

実務経験の有無及び活用

備考
中国語検定4級試験を受けるのは6月末なので、その後の授業はHSK試験3級の内容をシフトする予定です。